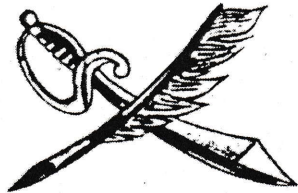


開成学園排球部 OB 会 会報



平成 15 年 8 月

目次

1.	総務関係活動報告および活動予定	1 頁
2.	平成 15 年度役員人事	2 頁
3.	会計報告及び予算	3 頁
4.	開成クラブ戦績	4 頁
5.	開成高校戦績	5 頁
6.	開成中学戦績	10 頁
7.	会員近況	14 頁
8.	会費納入のお願い	16 頁

1. 総務関係活動報告および活動予定

- 平成 14 年 4 月 第 20 回 開成・麻布定期戦開催 (in 開成)
☆総合優勝☆ 開成 (8 連覇達成 通算 12 勝 8 敗)
5 月 年度幹事会開催
6 月 OB 総会開催 (15 日)
9 月 会報発行
- 平成 15 年 4 月 第 21 回 開成・麻布定期戦開催 (当番校：麻布)
☆総合優勝☆ 開成 (9 連覇達成 通算 13 勝 8 敗)
5 月 年度幹事会開催
6 月 OB 総会開催 (14 日)
8 月 会報発行・中村先生追悼文集配布
- 平成 16 年 4 月 第 22 回 開成・麻布定期戦開催予定 (当番校：開成) (第 1・2 日曜を予定)
5 月 年度幹事会開催予定
6 月 OB 総会開催予定 (第 2・3 土曜日を予定)
8 月 会報・名簿発行予定

* OB 総会報告 (文責 宮)

梅雨とはいいいながらも好天に恵まれた六月の土曜日の午後、開成の体育館には、昔年の名プレーヤーたちが集まってきました。現役部員の数も近年は少なくなってきた紅白試合も出来ませんので、中学、高校ともに OB との試合に興じました。年配の方は中学生と、まだまだ若い OB は高校生とネットを挟んだ交流をもちました。ところどころ昔をしのばせるナイスプレーも見られましたが、自分の子どもや孫と同じくらいの現役を相手に、皆さん楽しそうにプレーしていました。ただ、勝ちにはこだわっていたようですが… (笑)

その後、場所を第 1 会議室に移し、OB 総会も早々に切り上げ、懇親会となりました。名誉顧問の岩谷先生もいらっしゃり、昔話にも花が咲いていたようです。岩谷先生からは、健康法を伝授していただきました。いまでも欠かさず腕立て伏せをなさっているとのことでした。

S30 年卒の進藤先輩から、去年卒業したばかりの OB まで、世代を超えた交流を持つことが出来ました。今後とも、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

参加者(敬称略)：岩谷(元教員) 進藤(S30) 明渡(S31) 安井(S37) 山本・芥川・玉田(S38) 佐藤(S40) 結城(S43) 片野(S44) 小山・小川(S45) 矢澤(S48) 関(S54) 小林(H2) 鈴木周(H8) 宮・田沢(H9) 川原・石井(H10) 楓・石岡(H11) 松尾・平松(H12) 大内・植田・勝井(H14)

2. 平成 14 年度役員人事

役員

顧問	栗原 弘	先生	幹事長	鈴木 周	(H8 卒)
	奥山 茂樹	先生	副幹事長	増田 修久	(S59 卒)
	梁取 弘	先生		鈴木 大輔	(H6 卒)
名誉顧問	岩谷 昭史	先生		宮 利政	(H9 卒)
	伊藤 清一	先生	会計幹事	熊谷 達範	(S54 卒)
相談役	吉村 功	(S26 卒)		関 茂和	(S54 卒)
	進藤 定夫	(S30 卒)	監査幹事	冨部 直希	(S43 卒)
	石束 晃一	(S34 卒)	総務幹事	田沢 優	(H9 卒)
	安井 高明	(S37 卒)		楓 淳一郎	(H11 卒)
	山本 純一	(S38 卒)		松尾 佑樹	(H12 卒)
	佐藤 勇	(S40 卒)	HP 管理幹事	田沢 優	(H9 卒)
会長	結城 教仁	(S43 卒)		川原 尊徳	(H12 卒)
副会長	片野 昭秀	(S44 卒)	OBチーム主将	勝井 政博	(H14 卒)
	矢澤 俊彦	(S48 卒)	高校コーチ	大内 隆成	(H14 卒)
	市村 幹司郎	(S50 卒)	中学コーチ	植田 義章	(H14 卒)
	関 茂和	(S54 卒)			

年度幹事

24年～27年	吉村 功 (26卒)	45年	小川 宗男	62年	奈村 太久馬
29年～30年	進藤 定夫 (30卒)	46年	西村 隆	63年	和知 敏樹
31年～32年	明渡 久和 (31卒)	47年	松田 信彦	H1年	小木曾和宏
34年	石束 晃一	48年	矢澤 俊彦	H2年	和里田 聰
35年	平松 久和	49年	高塚 義弘	H4年	神波 泰夫
36年	三崎 哲郎	50年	松下 和正	H5年	古野 徳一
37年	安井 高明	51年	上野 雅資	H6年	鈴木 大輔
38年	山本 純一	52年	老川 功明	H7年	依田 秀則
39年	鈴木 康之	53年	野口 恭司	H8年	鈴木 周
40年	佐藤 勇	54年	関 茂和	H9年	宮 利政
41年	西山 祐二	55年	高浪 孝勝	H10年	川原 希彦
42年	片野 清昭	56年	鈴木 章弘	H11年	楓 淳一郎
43年	結城 教仁	58年	藤森 光章	H12年	川原 尊徳
44年	片野 昭秀	59年	清水 誠一	H13年	丸崎 玲
		60年	草野 昌行	H14年	勝井 政博
		61年	津野 泰明	H15年	川原 康朋

3. 会計報告および予算

平成 14 年度 収支報告（平成 14 年 4 月 1 日～平成 15 年 3 月 31 日）

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
春夏合宿援助費	120,000 円	前年度繰越金	2,800,638 円
現役強化費	108,245 円	年会費	391,000 円
荒川区試合参加費	37,300 円	寄付金	40,000 円
麻布定期戦費	30,000 円	利息収入	13,520 円
幹事会費	6,470 円		
慶弔費	16,000 円		
通信費	92,680 円		
事務費（アルバイト代）	15,000 円		
文房具費	17,822 円		
送金手数料	2,640 円		
中村先生追悼文集発行費	180,789 円		
次年度繰越金	2,618,212 円		
合計	3,245,158 円	合計	3,245,158 円

会計幹事 熊谷 達範(昭和 54 年卒)

関 茂和(昭和 54 年卒)

監査 冨部 直希(昭和 43 年卒)

平成 15 年度 収支予算（平成 15 年 4 月 1 日～平成 16 年 3 月 31 日）

科目	金額	科目	金額
（支出の部）		（収入の部）	
合宿援助費	120,000 円	前年度繰り越し金	2,618,212 円
現役強化費	150,000 円	年会費	610,000 円
荒川区試合参加費	40,000 円	受け取り利子	10,000 円
麻布定期戦費	20,000 円		
幹事会費	10,000 円		
慶弔費	20,000 円		
通信費	120,000 円		
事務費（アルバイト代）	20,000 円		
文房具費他雑費	20,000 円		
名簿発行費	100,000 円		
次年度繰り越し金	2,618,212 円		
合計	3,238,212 円	合計	3,238,212 円

4. 開成クラブ戦績（報告：OBチーム主将 勝井 政博）

- ・ 第51回春季大会（4月14日）

V S 雄飛会 25-12
 25-14

V S HATM 25-18
 25-11

リーグ戦1位通過により一部昇格決定！

2部決勝

V S ユーセブントクローズ 25-19
 23-25
 15-11

参加者：北村（H4）宮（H9）星野（H13）勝井・井口・六角・大内（H14）

- ・ 第18回オープン大会（7月7日）

V S 排球会 25-15
 25-15

V S 日興信用金庫 18-25
 21-25

相手は結果として優勝したチームでしたが、やる気は感じられなかった。それに対し、開成クラブは気合も乗り、かなり調子が上がってきていた。試合内容も悪くなく、後一步という印象でした。

参加者：北村（H4）宮・田沢（H9）石岡（H11）星野（H13）勝井・井口・六角・大内（H14）

- ・ 第52回秋季大会（9月8日）

V S 荒和会 16-25
 25-14
 17-15

V S バッキンズ 20-25
 17-25

相手は年齢そうの高いチームながらも動きがよく、完敗でした。ちなみに荒川七中のOBチームだそうです。結局荒和会がバッキンズに勝ち、一勝一敗で並びましたが、セット率でリーグ3位となり、惜しくも一部残留を果たせませんでした。

- ・ 第52回区民大会（11月17日）

V S 保健科学大 25-11
 25-10

V S ヒガゴリラ 11-25
 15-25

相手チームには、高校時代の選抜選手がおり、力負けした感じで完敗でした。結果として、ヒガゴリラが優勝しました。

- ・ 開成麻布定期戦（4月7日）

V S 麻布OBチーム 2-0

V S 麻布超OBチーム 1-2

OBチームは9連勝！スーパーエースの北村さんも20代最後を華々しく飾りました。来年からは超OB戦へ行かれるのでしょうか？

超OBチームは30才以上で構成され、9人制で試合をするのですが、近年、負けつづけています。麻布の超OBに比べて開成の超OBの年齢が高いのに原因があるのでは…。今年は1セット先取し、久しぶりに勝利するかと思われましたが、残念ながらその後2セット取られてしまいました。

最近、参加メンバーが固定されている感もありますので、皆様、是非振るってご参加ください。試合後の懇親会では、昔話に花がさいているようです。

・ 第52回春季大会 (4月20日)

V S アトムズクラブ A 25-20

25-16

V S 平和会 25-18

25-21

V S 親和クラブ B 25-17

25-18

参加者：北村 (H4) 宮 (H9) 井口、勝井、六角 (H14) 丹野 (H15)

2部優勝を果たしました！次回からは1部です！奮ってご参加ください！

5. 開成高校戦績 (報告：高校コーチ 楓 淳一郎)

チーム編成について……この頃の高校生は人数がとても少なく、本来リベロである森をレフトに入れねばならないほどだった。しかし5月頃、公立中学でのバレー経験者である荒井 (高2) が入部してくれたおかげで新しいポジションを組めるようになった。

レフト…荒井、岡本

センター…小林、久保田

セッター…荒田

ライト…浅川 (スーパーエース)

リベロ (レフト) …森 (キャプテン)

控え…遠藤 (兼マネージャー)

注：太字は当時の高1、他は高2

エースの浅川はセッター対角だが、前衛の時はレフト、後衛ではライトからバックアタックを打つ、という少し変則のポジションである。ご覧の通り、セッターやエースなどの中心的なポジションを高1に任せ、ブロック・レシーブの安定している高2が脇を固めている。このメンバーで新人戦までを戦っていくことになる。

・ インターハイ予選 (6月9日)

V S 小平南 2-0

V S 足立西 2-0

V S 国学院 2-0

V S 都立大崎 2-1

一回戦は4チームでリーグ戦を行い、危なげなく勝利。その後の都立大崎とのコート決勝では、ブロック・レシーブで粘って、何とかエース浅川のバックアタックなどに繋ぐバレーができた。小林が相手の裏エースをブロックするなど随所に良いプレーが見られた。

・ インターハイ予選2日目 (6月16日)

V S 目黒学院 0-2

V S 駒沢大学 0-2

3チームリーグであったが、相手が一学年上ということもあって実力の差が出てしまい、二敗という結果に終わった。基本的なパス力や、高さ・パワーなどフィジカル面での弱さが目立った。この頃から中距離ダッシュや筋トレなども真剣に取り組むようになった。

・ 私学大会 (8月21日)

V S 麻布 2-0

V S 堀越 0-2

一回戦は谷山さん、鳥越先生が率いる麻布高校。しかしあっさり勝つ。二回戦の堀越は強豪校らしく安定したレシーブからの早いコンビが持ち味だったが、そのコンビにブロックが付いて行けず、20点取るのが精一杯。ステップの遅さや、簡単にエースのマークを外してしまうなど、ブロックに大きな課題が見えた。またこの大会以降、中3が高校の練習に合流し、明らかに活気が出てきたことは喜ばしかった。

・ 支部優勝大会 (10月6日)

V S 大東文化 2-0

V S 都立富士 2-0

V S 早稲田 2-1

一回戦の3チームリーグでは余裕も見られる内容で勝ち上がったが、コート決勝の早稲田高校は苦しい戦いになった。要所で相手のサーブミスなどに助けられる場面もあり、何とかフルセットのデュースをものにした。まだベンチには入れない中3の応援に応え、勝利できたのは価値あることだったと思う。しかし内容自体は決して褒められたものではなく、接戦にならないと声を出さないという消極さも不安材料であった。

・ 支部優勝大会2日目 (10月13日)

V S 都立石神井 1-2

終始元気がなく、気合負けしていた。相手の弱点を突いたりするなどの作戦が自分達では上手く立てられず、混乱しているうちに負けてしまった試合だったように思う。相手のエースに対するフォーメーションや、頭を使った責め方なども磨いていかねばならないと感じた試合であった。またどうしても大人しい生徒が多く、試合中くらい感情を表に出して欲しいと感じたことは何度もあったと記憶している。練習での活気ある雰囲気作りが相変わらず課題であった。

・ **新人戦予選**（11月10日）

V S 日比谷 2-1

V S 桜新町 2-0

V S 大成 2-1

どれも格下の相手だったが、ミスを出しても励まし合う姿などがあまり見られず、相手に付き合っ
てだらだらした試合をしてしまった。この頃は練習でも中3の方が大声を出してがんばっている姿が
目立ち、高校生の踏ん張りが要求されていた。

・ **新人戦本大会**（11月17日）

V S 日大一高 1-2

V S 筑波大駒場 0-2

V S 都立立川 1-2

4チームリーグだったが、最初から弱気なプレーが目立ち、ついには格下の立川までにも負けてし
まい泥沼の三連敗。春高予選への出場権を失ってしまう。この試合の後、さすがに生徒たちもチーム
のことについて真剣に話し合いを始めた。この大会以降は随分と気合の入った練習をするようになっ
ていった。

新チームの編成……高2の久保田と荒井が引退し、半年後の関東大会出場を目標として、中3を加え
た新チームが発足した。

レフト…岡本、梶原 〈末續〉

センター…小林、小泉 〈遠藤〉

セッター…荒田 〈米内〉

ライト…浅川

リベロ（レフト）…森 〈藤江〉 注：太字は中3、〈 〉内は控えメンバー

部員数は11人と増え、中3も二人レギュラー入りした。控えのメンバーも粒揃いで、誰がどこに
入っても機能するように普段から練習していた。人数が少し増えたおかげで競争意識が芽生え、一人
一人が基礎とともに一芸を磨いていった。また一学年の人数が少ないため、上下の繋がりや信頼関係
も強くなったように思う。

チーム作りとしては、浅川の前衛後衛を問わずの強カスパイクを中心に、岡本・梶原の緩急をつけ
た攻撃や、小林・小泉のラリー中のクイックなど多彩な攻撃パターンを目指した。森・小林を中心と
した確実なサーブレシーブが大前提とされた。

・ 五校リーグ (12月22日)

VS 上野 2-0

VS 日比谷 2-0

VS 麻布 2-0

VS 小石川 2-0

新チームで臨んだ初めての試合だが、そうとは思えないほどの安定を見せ、試合ごとに先発メンバーやポジションを替えて試せるほどの余裕があった。パス力が向上したためか、終始安心して見ていられる内容で**全勝優勝**！スパイク・ブロック・サーブ各賞には高1、中3が多く入るなど、今後に期待が持てる内容となった。

・ 私学大会 (1月19日)

VS 日大桜ヶ丘 2-0

VS 城北 2-0

VS 堀越 1-2

順当に勝ち、コート決勝は夏の私学大会で破れている堀越。しかし内容は以前とは比べ物にならないほど良く、要所にブロックやサーブが決まり出すと、Bクイックやエースのバックアタックなども火を吹き堀越も為す術が無かったが、惜しくもフルセットのデュースをものにすることが出来なかった。接戦での精神力が課題として残ったが、何よりも若いチームが自信を持てたことが大きかったように思う。「関東に手が届くかもしれない」と実感した試合であった。

・ 関東大会予選 (4月27日)

VS 都立青山 2-1

VS 都立小松川 2-0

VS 東海大高輪台 2-1

たくさんの練習試合やゲーム形式の練習を重ねて来て、いよいよこの大一番となった。しかし負けたら引退試合という緊張もあってか、最初は全員がギクシャクし、ひどい内容だった。青山戦では1セット目を取られ、2セット目も19-24と、あと一点取られたら引退という絶望的な状況から、30-28と逆転するなど背筋の凍るような場面が多かった。一日目は何とか突破したが、自分達のミスでわざわざデュースにした後それを取り返す、といった感じで、精神力があるのかないのか不明なまま、二日目へと進んだ。

・ 関東大会予選二日目 (4月29日)

VS 東亜学園 0-2

一回戦から名門東亜という不運なクジだったが、ブロックアウトやフェイントなど緻密な作戦を立てて臨んだ。作戦は半ば成功していたが中盤以降は相手に読まれ、こちらの出来は悪くなかったもの

の力負けしてしまった。この試合で残っていた高3が全員引退したが、レギュラーの大半を占めていた高1・2は残るので、今後に大きな期待が持てそうだ。

最後に……以上が戦績の報告であるが、最後にぜひメンバーの紹介をして終わりたい。

- ・ 森（高3）…リベロでキャプテン。研究熱心で、自ら練習メニューを工夫し自他共に厳しくしていた。レシーブと精神面では特に大黒柱だった。試合では緊張しがち。
- ・ 小林（高3）…センター。サーブレシーブとブロックが良く、ラリー中のクイックも中々強力だった。練習でも試合でもマイペースで気分屋。声はあまり大きくない。
- ・ 遠藤（高3）…センター。マネージャー業もやってくれた。中学時代は部活もあまり来なかったが、高校で努力の人に大変身。最後はドライブサーブを一芸として磨いた。
- ・ 久保田（高3）…センター。シャープなクイックを要所で決めていた曲者。試合中でも冷静で、クレバーな攻撃が多かった。その分クール過ぎに見えることもあった。
- ・ 荒井（高3）…レフト。新高で高2から入部した経験者。ブランクで落ちた体力が中々戻らず苦勞していた。ムードメーカーで、スパイクを決めた後の喜び方が印象的だ。
- ・ 荒田（高2）…セッター。真面目で素直、何より研究熱心である。部活は休まず、まとめ役でもあった。ダッシュ力や指の筋力が少し弱いですが、今後まだ成長の余地がある。
- ・ 浅川（高2）…スーパーエース。171cmしかなく膝も悪かったが、バックアタックまで打つ攻撃の要。高さやパワーはあるので、後は技術のレベルアップに期待したい。
- ・ 岡本（高2）…レフト。サウスポーで前衛ではライトもこなした。筋トレのおかげでスパイク・ブロックは飛躍的に向上したが、レシーブは苦手。昔は少し弱気な面も。
- ・ 米内（高1）…セッター。背は低いがセンスがあり、ジャンプサーブも武器とした。最後はスタメンで出せるほど成長したが、実は慌てん坊。ブロックはあまり手が出ない。
- ・ 梶原（高1）…レフト。高さはまだ無いが、パワーのあるスパイクが武器。おかげで相手に「どシャット」されたこともしばしば。決めたらコートの後ろまで走って喜ぶ。
- ・ 小泉（高1）…センター。背は高くないが、一生懸命相手のコンビバレーにブロックを付いて行き、それだけの体力も備えていたが、レシーブでは気を抜いてしまうことも。
- ・ 末續（高1）…レフト・ライト。どのポジションもこなせるバランスの取れたプレーヤー。持ち前の明るさでチームを盛り上げてくれた。基礎的な筋力・体力が課題だった。
- ・ 藤江（高1）…リベロ。実際はピンチレシーバーとして出番があった。部活にはあまり来ないが、読みや脚力などポテンシャルは十分ある。それをいかに引き出すかだろう。

<キャプテン浅川洋貴の抱負>

① 一個上の先輩がいなくなりそれに長い間面倒をみてくれた絶対的なコーチだった楓先輩がいなくなり、今まで以上に自分達で考えてバレーをしなくてはならなくなったので、人数の少ない僕達高二は下の代を引っ張っていくと同時に下の代とも共に話し合ってより良い部活にしていきたいと思っています。バレー部は**明るく楽しく元気よく**がモットーですから。

② 試合などの目標については、高校生は僕達高二が5月まで残るつもりでいるので**関東大会出場を夢見て精一杯がんばります！**この前のインターハイ予選ではできたてのチームであったことと精神的な

面などで弱かったこともあり、二日目にいけず一日目で負けてしまいました。この試合で自分たちは身長の高いチームだと思い知らされたので、カットの強いコンビチームを目指して練習していこうという目標を見つけることができました。また中学生は正直強くないので、バレーは基本が大事であるから僕達上の代が指導して勝ったときの喜びなどを知ってもらいたいと思います。中一中二は人数が少ないのでがんばってもらうしかないという感じです。

6. 開成中学戦績（報告：中学コーチ 松尾 佑樹）

荒川区の現状

みなさんが中学生の頃に比べ、荒川区もチーム数がぐんと減って、現在は「荒川一中、荒川七中、諏訪台中、尾久八幡中、朝鮮中、開成」の6チームしかありません。中でも、荒川一中が強く、他は横並びといった感じです。

チーム編成……このころ、H4年卒の北村さんが中学生の面倒を見てくれていましたが、ご多忙のため、殆ど自分たちで練習していたようです。

レフト 日高・御子柴（土屋・飯尾）

センター 西川・金田（村井・田島）

ライト 梅田（李）

セッター 山田

このチームは、中3だけで構成されています。レフトエースの二人が小さいため、カットがいいときはAクイックを使ってサイドアウトを取り、ライト・センターの高身長をいかしてブロックポイントを狙うというのがチームの勝ちパターンです。セッターの山田は運動神経がよく、トス回しにも定評があり、速攻中心でも十分機能しています。

しかし、サーブカットに難があり、負ける時はいつもサーブカットが乱れる時です。この点が今後の課題です。キャプテンの土屋はベンチですが、練習中には率先して声を出すなどして部員を引っ張り、部員からの信頼も厚いです。

・シード権大会（8月）

V S 荒川第一中 0-2

V S 荒川第七中 2-0

V S 諏訪台中 2-0

・荒川区区民大会（9月）

V S 荒川第一中 1-2

ちなみに、この大会はトーナメント戦でした。

・ブロック大会（10月）

V S 銀座中 0-2

V S 足立第十四中 0-2

V S 加賀中 2-0

・ **六校リーグ** (2月)

V S 麻布中 2-0

V S 学習院中 0-2

V S 暁星中 0-2

・ **ブロック大会予選** (4月)

V S 諏訪台中 1-2

V S 尾久八幡中 1-2

V S 朝鮮第一中 2-0

・ **ブロック大会** (5月)

V S 東綾瀬中 1-2

V S 御徒町台東中 0-2

V S 尾久八幡中 2-0

ブロック大会3位戦

V S 東島根中 0-2

V S 諏訪台中 0-2

V S 荒川第七中 1-2

部員一覧

・ 中学3年生

土屋 貴穂、山田 淳也、西川 検斗、御子柴直紀、金田 涼佑、村井 駿、日高 貴弘、田島 大基、梅田 剛佑、飯尾 成博、李 尚憲

・ 中学2年生

島 麗、加登 翔太、高橋 光、矢内 尚人、大西 宏典、土屋 篤生

<キャプテン土屋の今後の抱負>

まだチームが不安定なので、個々の技術のレベルアップとともに安定したプレーができるよう目指します。そのためには基礎的なレシーブのフォームやスパイクの助走のフォームから見直して、より幅広く技術を取り入れることから始めます。最終的には、サーブでくずしてAで勝負する形を確立させます。まずは都大会出場！「確率重視」のチームで！

7. 会員近況（敬称は省略させていただきます。）

- ・快適な毎日です。ご安心ください。（元教員 伊藤清一）
- ・いぶせき里の田舎住まいにて、時折上京して都の空気に触れています。（S25 大瀧利尚）
- ・古稀を迎えましたが頑張っています。皆様によろしく。（S27 岡部雅臣）
- ・ひたすら無為徒食のみにて、着々と加齢中です。（S29 小林正明）
- ・孫と遊ぶのが一番ですが、地域福祉の仕事にも精を出しています。（S30 宗近伸匡）
- ・65歳を迎えましたが、いまだ電気工事の現場で過ごしております。現在は、長野県内某下水処理場の施工管理を担当しており、3月末より愛知県内での自動車関係試験設備の工事を担当することになっており、なかなか休めません。（S31 田村鉄興志）
- ・同級生で在学中にバレー部の同期だけでなく終生大親友の鎌田修君が4月27日肺がんで急逝されました。その際、同窓生、開成OB会の皆様にもご協力いただき、ありがとうございました。
（S31 加藤裕康）
- ・4月に定年となり、生活習慣が変化しとまどっています。（S37 上田一成）
- ・来月二人目の孫が生まれる予定で、真面目に“じいさま業”に精を出さねばと思ってます。それにしても定年まで残り1年になったのに何でこんなに忙しいのかと首を捻りたくなります。早く好きなことをしたい気持ですが、考えが甘いかも？（S38 芥川修）
- ・九州での生活をエンジョイしながら楽しく仕事をしています。（S39 鈴木康之）
- ・昨年末に新日鉄を辞め、Jフォンに転職しました。（S43 宇田川雄司）
- ・女房が右足のアキレス腱を切って手術をしました。2ヶ月間は車の運転ができないと言われており、車がなければ何も出来ない車社会の当地ですので、子供たちの学校への送り、買い物など、てんてこ舞いになってます。（S45 竹内雄一）
- ・3回目のインドネシア転勤でジャカルタに3月末から単身赴任しております。（S46 大江正人）
- ・久しぶりに同期部員との会合に出席し、楽しく過せました。（S47 関口昌彦）
- ・最近アスレチックジムに通い始めました。運動の後のピールがうまいので、あまり効果は出ていません。もう少しスリムな体にならないと、バレーボールへの復帰は無理そうです。（S47 佐藤修）
- ・なかなか業績が回復せず、苦しんでいます。年1回のバレーボール、怪我しないようにしたいと思います。（S49 柏女浄照）
- ・見晴らしの良い小さな山の上の公園まで自宅近くからハイキング道がのびており、往復1時間の散歩を時々楽しんでいます。（S49 丹治雅行）
- ・日本へ帰国後2年間、埼玉の秩父へ単身赴任していましたが、そろそろ終わりとなりそうです。（S49 清水淳一）
- ・昨年10月からシンガポール勤務となりました。（S50 市村幹司郎）
- ・健康診断が近いので、縄跳びをはじめました。（S50 杉山伸郎）
- ・昨年9月より、ジュネーブのWHO（世界保健機構）で働いています。HIV・AIDSの部門ですが、SARSのおかげですっかり影が薄くなりました。来年9月まで滞在の予定ですので、ジュネーブについての節はご一報ください。（S52 田村謙二）
- ・最近土日仕事漬けです・・・（S53 野口恭司）
- ・現在、学内外の仕事に加え、工業化学科の教務幹事で多忙な仕事に拍車がかかっています。睡眠時

間を削る毎日です。(S54 井手本康)

- ・毎日、毎日新鮮な気持ちで授業をするよう心がけています。(S54 熊谷達範)
- ・ベンチャー青年実業家？のつもりだったのに、気が付けば零細企業の中年オヤジになっていました。

(S55 井垣和明)

・ご存知のようにオランダに在住しており、今回も参加できません。すっかり体も鈍っており皆様の前に参上できる状態でもありませんし。是非全てのカテゴリーで麻布に勝ってください(もちろん怪我をしないようにですが)。(S56 天明宏之)

- ・介護保険のスタート以来、高齢者介護事業に携わっております。(S56 野澤和久)
- ・現在フランス勤務中です。(S58 開米聡)
- ・米国から帰国し1年半経ちました。会社生活13年のうち6年近くが米国だったので、帰国直後は日本ペースに慣れず大変でしたが、ようやく慣れてきたように思います。米国赴任後はバレーボールから縁遠くなってしまいました。最近はゴルフに力をいれようかと思っています。(S60 白子知義)
- ・当方は元気にやっております。長男(3歳)は今年幼稚園に、次男は来月1歳になります。(S60 高橋・究)

- ・千葉市花見川のほとりの最成病院というところで消化器外科をやっております。(S61 松崎弘志)
- ・千葉大に昨夏着任後倒産処理法、民事執行法の講義を担当しました。今春は民事訴訟法です。(H4 北村賢哲)

- ・天文学の研究をやめ、4月から、数研出版株式会社東京本社で働く事になりました。(H6 今西健介)
- ・一橋大学大学院法学研究科博士課程でフランスの議会法の研究をしています。(H6 徳永貴志)
- ・4月より東北大学大学院(放射線科学教室)に進みます。(H6 大田英揮)
- ・今年4月から東大眼科の大学院に進学します。(H6 松浦恭祐)
- ・長かった学生生活も終わり、今秋から助教授としてプリンストン大学政治学部で教鞭をとることになりました。ニューヨークなどにいくことがありましたら、ぜひ声をかけてください。(H6 今井耕介)
- ・修士を卒業(修了)し、社会人二年目です。(建築コンサル) (H7 加藤和哉)
- ・霞ヶ関に戻ってきました。(H7 依田秀則)

- ・ようやく4月から社会人になり、一人暮らしをはじめます。(H9 田沢優)
- ・学生生活もあと一年。いろいろとやっておこうと思います。(H9 飯田洋)
- ・4月より電通国際情報サービスに就職致しました。(H10 石井勇一)
- ・入社前英語研修ということで英会話学校に毎日通っています。75%以上出席しないと補助金が出ないのである意味かなり必死です。この春から社会人なので不安一杯夢一杯でがんばります。(H11 木村哲哉)

・春から千葉大学医学部4年です。高校時代うまくもなく熱心でもなかったのに、医学部のバレーサークルでいまだにバレーをやっており、しかもなぜか主将をやっております。亡き中村先生も驚いていることでしょう。医学部の大会で開成バレー部の仲間達と対戦するのが楽しみです。(H11 藤野真史)

- ・就職活動中です(H12 渡辺政顕)
- ・大学の授業はそこそこに、バレーの試合のために東北じゅうを遠征しています。(H13 下山真)
- 早稲田大学理工学部応用化学科において、毎日勉学に励んでおります。(H14 大内隆成)
- ・慶応義塾大学医学部に進学致しました。(H14 勝井政博)

